

区議会公明党推進の 帰宅困難者 対策訓練を実施

東京都、埼玉県、豊島区などによる帰宅困難者対策訓練が2月3日に実施されました。長橋けい一都議会議員と公明党豊島区議団も池袋駅で行われた訓練に参加しました。

これは都議会公明党と公明党豊島区議団が実施を求めてきた初の合同訓練です。首都直下地震の発生で鉄道などの交通機関の運行が停止した状況を想定し



池袋駅構内で行われた
帰宅困難者対策訓練の様子

①駅構内や周辺の大規模集客施設などでの利用者らの保護②IT技術を活用した情報提供③徒歩帰宅者への支援——などの訓練を行いました。

公明党豊島区議団は、訓練に参加した経験を生かしてさらなる対策を提案していきます。

豊島区が池袋駅周辺で配付した「震災時対応マニュアル」が好評です。帰宅困難者が被災時取るべき行動のルールや安否確認方法、災害時に「帰宅支援ステーション」となる池袋駅周辺のコンビニエンス・ストアなどの位置が記載されています。

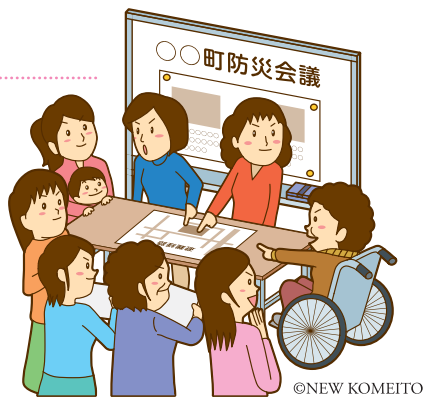


震災時
対応
マニュアル

女性の視点生かした 防災を実現!



防災に女性の視点をと訴える
(左から)此島区議、高橋区議



©NEW KOMETO

公明党は、災害時に女性が力を発揮できる仕組みづくりに取り組んでいます。豊島区でも女性の視点を取り入れた地域防災計画の策定や備蓄物資の見直し、防災パンフレットの作成を実現しました。

東日本大震災では、避難所の更衣室や授乳スペース、また紙おむつ・衛生用品・化粧品などの物資が不足するなど、女性の視点の大切さが浮き彫りになりました。

そこで公明党は、全国で女性の視点からの総点検を実施。豊島区でも「防災会議」の女性登用を進めてきました。

災害で命を守る あなたの「避難力、は？」

大災害で救援の手が入るのに必要とされる3日間をあなたは生き残れるか。大地震が起こった場合の「避難力、」をチェックしましょう。

Q1 どこに逃げる?

A.近くの公園 B.近くの商店

Q2 停電の際にしておくことは?

A.家電のスイッチを切る B.ブレーカーを切る

Q3 自宅が危険な時どこに避難する?

A.近くの区立小中学校 B.近くの大学や大きな施設

解説

- 1 A 公園や広場が町会指定の「地域集合場所」になっている場合が多い。事前に確認しておきましょう。
- 2 B 停電から復旧の際、家電の電源が入っていると、火事になる危険性がある。ブレーカーを切りましょう。
- 3 A 区立小中学校が「救援センター」となり、情報・水・食料などの支援拠点になります。



©NEW KOMETO